資料２

令和７年度事業実績

（指導対策部会）

１　山岳遭難防止対策

遭難事故防止パトロールの実施

各支部の協力を得て、当協議会管轄の山岳にて山開きや休日等多数の登山者が予想される時期にパトロールを実施、指導標の確認を行い、遭難事故の未然防止を図った。

２　研修会の開催

山岳遭難防止及び安全対策として研修会を２回実施した。

【第１回】

（１）名　称　令和７年度第１回道北地区山岳事故等防止セミナー

（２）日　時　令和７年１２月１３日（土）１３：００～１５：３０

（３）場　所　東川町複合交流施設　せんとぴゅあⅠ　コミュニティホール

（４）内　容　講話

「冬のアクティビティの汗対策～冬を楽しむために着るべきウエアや装備～」

講師：Transit 東川　林 拓郎 氏

（５）参加者　１３名

【第２回】

（１）名　称　令和７年度第２回道北地区山岳事故等防止セミナー

（２）日　時　令和８年２月７日（土）９：００～１２：００

（３）場　所　旭川市教育委員会社会教育部旭川市科学館サイパル

（４）内　容　座学及び屋外での体験学習

「雪崩のメカニズム」

講師：大西　人史　氏、竹内　史郎　氏

（雪崩事故防止研究会、上富良野冬期山岳事故防止委員会　所属）

（５）参加者　１２名

※注　本セミナーは旭川市科学館サイパルと共催で実施しており、定員はサイパルと講師間で相談し決定している。

３　広報活動

啓発資材の配布による広報活動促進

国立登山研究所の協力の元、「セーフティカード」夏版 2000 部を提供いただき、各支部及びロープウェイ入口あてに配布することにより、遭難防止啓発広報活動をおこなった。

また、道警や各支部が実施する登山口等での啓発活動に資するため、配付用の栄養補助食を購入し、希望のあった支部に提供した。